

## 春の学生健康診断が無事に終了しました !!

新入生および在学生の皆さん、ご入学やご進学おめでとうございます。  
新学期早々の実施でしたが、4月5日からの学生健康診断の全日程が終了いたしました。  
今年は天候に恵まれず、雨や風の強い中での健診日もありましたが、無事に終了できました。  
学生の皆さんのご協力に感謝申し上げます。

今回の健診では総計 4,648 人が受診し、受診率は 86.9%でした。コロナ禍以降の受診率と比較し、まずまずの数値でした（表1）。一方、約 700 人は受診されませんでした。  
教育実習の際に、健康診断の結果や麻しんワクチンの接種状況もしくは抗体価の提出を求められる場合があります。無症状の病気が見つかることもあります。他学では肺結核や気胸が見つかったこともありました。学生の皆さんは、ぜひ、次年度以降も春の健康診断をきちんと受けていただきたいと思います。

表1 年度別の健診受診率

年度	受診率(%)
R2(2020)	92.7
R3(2021)	91.0
R4(2022)	89.0
R5(2023)	86.5
R6(2024)	86.9

令和6年は5月13日(月)からの健康診断結果の自動発行を見込んでいます。実習等で健康診断書が必要な方は、保健管理センター内の自動発行機での発行をお願いいたします。

尚、何らかの異常が見つかり、精密検査や治療が必要な方は自動発行ができませんので、窓口までお問い合わせください。もし、今回の4月の健診を受けらなかった方で、実習等に際して健康診断書が必要な場合は、早めに外部の医療機関への受診をおすすめいたします

ここからは、新入学時に提出する麻しん抗体検査と麻しんの国内状況について、お話しします。皆さんもニュース等で見聞きしたと思いますが、2024年3月に日本国内で麻しんの感染例が相次いで報告されました。麻しんは、「はしか」とも呼ばれ、約10日～12日間の潜伏期の後、発熱・のどの痛み・咳・眼の充血などの症状があり、一旦解熱後に再び高熱と全身の発疹をともなうウィルス感染症の一つです。ウィルス性肺炎や細菌の重複感染（特に中耳炎）を併発して重症化したり、1000人に1人程度は脳炎を発症することがあります。また、先進国でも1000人に1人程度の死亡率であることも報告されています。

2024年3月末までに報告された約20名のうち、13名は海外渡航歴があり、うち8名は同じ航空機を利用していました。また、約半数（10名）は20歳代でした。麻しんは空気感染するため、感染力の強さがうかがわれます。実は東京都の報告では、昨年も新幹線内での感染事例がありました。通常、感染力には感染様式が大きく影響するため、空気感染＞飛沫感染＞接触感染の順に感染力が大きいとされています。麻しん・結核・水ぼうそう（水痘）の3つは空気感染するため、感染力が非常に強いことが知られており、コロナやインフルエンザ（飛沫感染）よりも感染しやすく、注意が必要です。一方、麻しんはワクチン接種により、1回接種で93～95%以上、2回接種で97～99%以上の免疫獲得が期待されます。そのため、本学は教育実習に備えて入学時に麻しんワクチン接種歴や抗体検査結果を確認しています。おおむね24歳から51歳までの方はワクチン接種が1～2回、52歳以上は未接種（0回）に該当するため、注意が必要な世代です（表2）。

表2 生まれた日別の麻しんワクチンの接種状況

生年月日	ワクチン接種回数	2024/4/22 現在の年齢
2000年4月2日以降	2回	～23歳 <sup>#1</sup>
1990年4月2日～2000年4月1日	1～2回	24歳～33歳 <sup>#2</sup>
1972年10月1日～1990年4月1日	1回	34歳～51歳
1972年9月30日以前	0回	52歳 <sup>#3</sup> ～

#1 : 24歳の一部を含む（2000/4/2～2000/4/22生まれの24歳の方）

#2 : 34歳の一部を含む（1990/4/2～1990/4/22生まれの34歳の方）

#3 : 51歳の一部を含む（1972/4/23～1972/9/30生まれの51歳の方）

現在の日本は麻しん排除認定国ですが、コロナ禍後の国々間の移動が活発になると、輸入感染症事例が増えると予想されます。麻しんは免疫のない方が感染した場合、100%発症すると考えられるため、排除状態を維持するためにも予防接種は大切です。このような背景から、学校教育に関わる本学の皆さんには、入学時の麻しんに関わる書類の提出にご協力をお願いしています。

最後に、新学期が始まったばかりで不安や戸惑うことも多い日々かと思えます。健康管理センターには学生や教職員の皆さんの心と体の不安、またはお悩みの相談にいつでも応じられる医師や看護師、カウンセラーが在駐しています。もし、何か困りごとがある時は、遠慮せずに窓口までご相談ください。不安や悩みの解消につながるようサポートしますのでお気軽にお声かけください。

2024年4月22日  
保健管理センター  
内科医 平山 哲

参考

厚生労働省 HP

[麻しんについて | 厚生労働省 \(mhlw.go.jp\)](#)

[001131749.pdf \(mhlw.go.jp\)](#)

[001093670.pdf \(mhlw.go.jp\)](#)

# 「麻しん(はしか)」 の感染事例が報告されています！

海外渡航後の感染、また国内での感染にも注意が必要です。

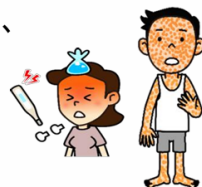
## 感染経路

麻しんウイルスは感染力が非常に強く、空気感染等により、簡単に人から人に感染します。麻しんの免疫が不十分な人が感染すると、高い確率で発症します。

## 症状

高熱、全身の発しん、せき、鼻水、目の充血など

肺炎や中耳炎になることがあり、まれに、重い脳炎を発症することもあります。先進国であっても、1,000人に1人が死亡するといわれています。



## 症状がある場合

医療機関に電話等で麻しんの疑いがあることを伝え以降は医療機関の指示に従ってください。医療機関への移動の際は公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。

## 予防

ワクチン接種が有効です。定期接種対象者(1歳児、小学校入学前1年間の幼児)、医療・教育関係者、海外渡航を計画している方は、予防接種が済んでいるかご確認ください。

※新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、接種を延期されていた方は、規定の接種時期ではない時期に接種を行った場合についても、定期接種として取り扱われ得ますので、お住まいの市町村にご相談ください。

詳しくはこちら

麻しん 厚労省

検索

厚生労働省

麻しんについて ▶



<お知らせ>

## 麻疹（はしか）は ワクチン接種が予防に有効です！

麻疹は、麻疹ウイルスが感染しておこる感染症で、発熱や発疹などが主な症状です。麻疹は感染力が強く、空気感染もするので、日頃から麻疹のワクチン（一般的にはMRワクチン）を受けていることが、予防に最も有効です。

### 定期接種を受けましょう！

《定期接種を受けましょう》

- ◎ ワクチンを1回接種することで、95%の人が麻疹に対する免疫がつくとされています。
- ◎ 確実な免疫を得るためには、99%以上の人が免疫がつくとされる2回の接種がのぞましいとされています。
- ◎ 接種歴は、母子健康手帳で確認できます。

《ワクチンを接種した方がいい？》

- 1歳児と小学校入学前1年間の幼児は、定期接種の対象です。期間内に接種することを積極的にお勧めします。
- 過去に麻疹と診断され、検査で確認されたことがある方は、免疫がついていると考えられることから、ワクチンを接種する必要はありません。
- 過去に麻疹と診断されたこともワクチン接種を受けたこともない方は、母子健康手帳を確認の上、医療機関にご相談ください。

《以下、特にご注意ください》

- 過去に麻疹と診断されたこともワクチン接種を受けたこともない方で、麻疹患者と接触し、1～2週間（約10日間）経ってから熱、せき、のどの痛み、眼が赤くなるなどの症状が出てきたら、麻疹の可能性がります。麻疹の可能性がら旨、事前に医療機関へ連絡してから受診するようにしてください。



麻疹・風しん  
(厚生労働省)

[https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekka-ku-kansenshou/measles/index.html](https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekka-ku-kansenshou/measles/index.html)



麻疹（はしか）に関する  
Q & A (厚生労働省)

[https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekka-ku-kansenshou/measles/index.html#h2\\_free6](https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekka-ku-kansenshou/measles/index.html#h2_free6)



麻疹とは  
(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kanse/nnohanashi/518-measles.html>